

観測部月報

★

東亞天文協會

★流星課だより (81)——課長 小槇孝二郎

六月には著しい流星群はない。月末にキンネケ彗星に關聯する流星群が大熊座 γ 及龍座 ϵ 星附近を輻射點として出現することが豫想されるが、母彗星の回歸が來年七月であるため未だ豊富な出現を見ることはなからう。

× × ×

一月乃至三月の観測集計は下記の通りである。

観測者	観測地	一 月			二 月			三 月		
		回数	時間數	流星數	回数	時間數	流星數	回数	時間數	流星數
吉井 耕一	廣島縣竹原	4	438分	80	3	205	23	1	90	3
小槇孝二郎	和歌山縣金屋	2	75	21				1	30	3
川上 英	大 阪 市	2	120	15						
金子 榮	群馬縣入ヶ谷	2	150	14						

以上の外に大石辰次(静岡縣)、石上五郎(静岡縣)の兩氏から火球の報告があつた。

一月の小槇、金子兩者の観測は既に三月號にのべたが、川上氏の観測も二夜とも四分儀群を目的としたものであつた。吉井氏の一月3日朝に於ける三時間餘(195分)に亘る観測中には四分儀群13個の外獵犬座南部($\alpha=201$, $\delta=+32$)に輻射點を有する流星5~6個があつた。

二月上旬の牧夫群は吉井氏が若干見てゐるだけであつて輻射點の決定すら出来ない。其の他に特記すべき流星群はなかつた。

四月の琴座流星群は概ね天氣悪く筆者は観測する機會を得なかつた。

★遊星面課月報 (4月)

少時サボつておりましたが、ボツボツ諸遊星も揃ひ初めましたし、又氣流狀

態も良くなって來ましたので、月報を出す事に致します。

先づ第1に、課員の消息として、昨年迄の火星接近毎に、鋭眼を振つて觀測の急先峰として活躍された、大分縣杵築の渡邊恒夫氏が、去る4月29日召集令下令され、勇躍應召、5月4日入隊されました事を御報告し、同氏の武運長久を祈願致します。

金星が宵の明星として夕刻西空に君臨して來ました。幻惑が甚しく、スケッチはとり難いですが、晝間或は日没直後を狙つて觀測され度い。

木星も最早や觀測には好機となつた。15^{cm}級の反射鏡が相當澤山遊んでゐる筈。木星には絶好の口径、切に御活用を願ふ。觀測要目は天界196號の記事を参照され度い。縞の變化、赤斑の變形、火星に亞いで興味ある星である。

(E. D.)

★太陽課だより (4月)

3月下旬の2大黒點は今月まで持ち越し2日まで見えてゐた。上旬もやはり南半球の活動著しく、北半球は8日になつて北緯25度附近にかなりの大群が出現するまでは非常に淋しかつた。10日に東縁より出現した2大黒點は16日に中央子午線を通過したが、その日の午後、内地の有線電話が大妨害をうけた。中旬には肉眼的な群が次々に現れ盛況を呈した。下旬も太陽面は至極賑やかで23日の如きは大小とりどり6群もの新群の出現には面くらつた。先月25日の高緯度(南緯42度)黒點を機として稍高緯度の活動が萌し始めたのではないかと、ほのかに感ぜられる。(本田實氏の御報告より)

長野縣北佐久郡協和村の田中靜人氏より去る3月25日の高緯度の黒點群について御報告をいただきました。小澤氏(名古屋市西區西萬町三丁目9)と山田氏とをお迎えいたしました。(P)

特別附録

月刊簡易星圖

御參考の爲に本號には月刊簡易星圖を附録としました。月々の變り行く天象を研究するために御利用を願ひます。これは昨春創刊されたものですが、他の月のものを御入用の方は定價送料をお含みの上お申込み下さい。

太陽課 黒點相對數報告 (1938年4月)

觀測者(觀測地)	千葉 武志(岩手縣水澤町)	御供 印孝(東京市立一中)	森久保 茂(東京慈惠醫大)	水谷 俊海(橫濱市七島町)	堀田 泰生(橫濱市東寺尾)	淺居 正雄(橫濱市神戶上)	沓掛 七二(長野縣青木村)	大石 辰次(静岡縣吉永村)	山田 達雄(愛知縣犬山町)	小澤 喜一(名古屋市西萬)	正村 一忠(岐阜市溝旗町)	木邊 成麿(滋賀縣中里村)	川上 英(大阪明星商業)	野口登美雄(大阪市曾根崎)	伊達英太郎(兵庫縣雲雀丘)	改發 香塙(神戸市關守町)	本田 實(廣島縣瀬戸村)	津留 繁雄(熊本市本莊町)	坂上 務(鹿兒島市山下)
口徑mm	102	50	70	58	38	58	102	55	69	60	25	75	76	76	36	150	50	32	102
倍率	50	32	50	50	50	60	75	64	44	40	48	60	56	50	40	68	59	50	67
1	(旅行)	(休暇)	旅83	57	107	115	105	94	缺	(缺)	71	106	85	97	86	缺	142	41	126
2	曇	曇	旅93	56	139	147	108	91	34	88	57	127	125	94	102	142	136	52	144
3	曇	曇	旅62	曇	112	139	73	89	雨	曇	曇	143	70	73	63	曇	曇	雨	雨
4	曇	曇	91	缺	100	132	90	86	48	45	47	缺	101	78	113	忙	旅	59	114
5	曇	曇	64	曇	137	139	119	曇	曇	曇	曇	101	87	90	88	忙	旅	61	102
6	曇	曇	48	曇	101	107	115	曇	曇	曇	曇	83	90	88	92	113	旅	73	119
7	曇	曇	58	曇	64	曇	曇	曇	曇	曇	曇	缺	94	89	101	96	缺	78	雨
8	曇	曇	46	曇	80	曇	119	91	57	曇	曇	89	85	83	92	130	114	86	雨
9	曇	曇	104	曇	72	曇	145	77	75	曇	曇	89	85	83	92	曇	85	雨	120
10	曇	曇	89	曇	曇	曇	111	曇	72	曇	曇	113	74	96	110	曇	96	々	々
11	曇	曇	曇	曇	130	嵐	嵐	嵐	雨	缺	雨	雨	雨	雨	雨	雨	旅	90	124
12	曇	曇	曇	曇	130	嵐	嵐	嵐	73	78	66	102	127	102	102	雨	行	94	121
13	曇	曇	101	曇	115	曇	曇	76	101	108	83	130	142	142	曇	曇	曇	90	137
14	曇	曇	95	曇	117	168	119	81	99	86	曇	125	曇	98	133	曇	曇	曇	缺
15	曇	曇	85	曇	103	137	112	89	101	101	曇	曇	曇	缺	缺	中	曇	64	124
16	曇	曇	84	曇	123	曇	142	91	70	108	95	150	90	140	曇	に	曇	曇	174
17	曇	曇	缺	曇	127	缺	127	113	70	99	曇	120	曇	120	曇	110	曇	61	176
18	曇	曇	75	曇	148	曇	134	80	95	95	曇	缺	曇	102	雨	曇	曇	62	162
19	曇	曇	曇	曇	132	160	147	92	84	103	73	139	105	89	89	曇	て	63	162
20	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	95	曇	78	曇	139	曇	曇	曇	曇	曇	曇	々
21	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	62	57	72	62	缺	74	缺	缺	旅	缺	雨	98
22	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	82	82	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
23	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
24	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
25	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
26	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
27	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
28	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
29	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
30	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
日數	17	20	25	8	18	16	19	19	15	16	20	22	19	17	19	10	14	12	10
平均	132	69	115	—	99	97	103	119	77	101	74	86	111	125	131	81	100	76	86

◎坂上氏、中旬以後北支の黄土多く殊に15、18、21日は甚しく妨害されたり◎小澤氏25—29日は15糎反射50倍使用、山田氏は69糎44倍屈折(犬山町大本町51)と35糎87倍屈折(名古屋市立第二商業學校)とを併用、御供氏26日は10糎反射40倍使用◎スケッチ受領、坂上氏17日分、津留氏2群、堀田氏9日分、本田氏25日分◎緯度報告、野口氏、沓掛氏、堀田氏◎肉眼報告、坂上氏3群、沓掛氏6群、正村氏4群、森久保氏5群、津留氏4群、淺居氏堀田氏13群◎寫眞觀測、伊達氏17日分(75糎反射)